

ボトルネックは 材料・器械の デザインにあった!

—タスクシフトを見据えた業務改革—

年々増加する手術件数への対応や働き方改革
地域から期待される医療の質と安全など
いずれも譲れないことに対し
目前の課題に対し真因はなにか?
何から取り組んだらよいのか?
何をどのように、誰と取り組めばよいのか?

と、皆さんも常日頃から感じていませんか?
そこで、我々の取り組みをマクロとミクロの視点からご紹介します

日時

2022年6月25日(土)
12:10~13:10

会場

第1会場 メインホール
和歌山県民文化会館(本館2階 大ホール)



座長

和田 記代子 先生

和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部 師長

演者

杉浦 暢彦 先生

社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 医療情報部 兼 資材課 課長

佐々木 光隆 先生

社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 手術室係長